

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年5月22日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年5月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【既設多核種除去設備(C)共沈タンクpH計からの漏えいについて】 共沈タンクpH計から水が漏えいしていることを、パトロール中の協力企業作業員が発見。 pH計の前後弁を閉し、漏えい停止。 漏えい水の拭き取り実施。 既設多核種除去設備(C)の起動には影響なし。	G II
2	【6号機常用照明用変圧器の電源の不具合について】 6号機低圧電源盤の常用照明用変圧器の電源しゃ断器を「入」操作したところ、自動「切」動作が発生。 予備のしゃ断器と交換し、異常なしを確認。	G III
3	【構外バスからの油漏れについて】 構外ヘリポート近傍の駐車場に駐車中のバスより、油漏れを確認。 漏えいした油の吸着および中和剤の散布実施。	G III